

## 5. 助成実績

### (1) 実績

	＜研究グラント＞				＜長期フェローシップ＞		
	応募件数	第一段階 採択件数	最終採択件数	採択率	応募者数	採択者数	採択率
1990年度	235	-	29【9】	12.3%	202	77【17】	38.1%
1991年度	239	-	32【3】	13.4%	348	98【25】	28.2%
1992年度	281	-	37【4】	13.2%	499	125【33】	25.7%
1993年度	332	-	42【6】	12.7%	555	147【35】	27.4%
1994年度	351	-	40【4】	11.4%	613	159【23】	26.1%
1995年度	389	-	52【5】	13.4%	711	160【29】	22.5%
1996年度	439	-	45【3】	10.3%	846	160【32】	18.9%
1997年度	385	-	48【4】	12.5%	807	160【20】	19.8%
1998年度	381	-	47【3】	12.3%	704	160【25】	22.7%
1999年度	365	-	50【0】	13.7%	682	159【21】	23.5%
2000年度	315	-	54【7】	17.1%	652	144【20】	22.1%
2001年度	386	-	53【6】	13.7%	665	81【11】	12.2%
2002年度	548	72	37【2】	51.4%	567	94【16】	16.6%
2003年度	549	80	31【4】	38.8%	639	90【12】	14.1%
2004年度	733	67	33【2】	49.3%	673	90【9】	13.4%
2005年度	719	86	34【0】	39.5%	609	89【12】	14.6%
2006年度	749	81	32【5】	39.5%	629	83【14】	13.1%
2007年度	756	80	35【2】	43.8%	614	95【8】	15.5%
2008年度	774	88	32【1】	36.4%	580	95【11】	16.4%
2009年度	600	88	35【2】	39.8%	633	93【6】	14.7%
2010年度	675	84	34【1】	40.5%	592	74【4】	12.5%
合計	10,201	-	832【73】		12,820	2,433【383】	19.0%

＜学際的フェローシップ＞			
	応募者数	採択者数	採択率
2005年度	65	12【2】	18.5%
2006年度	55	10【0】	18.1%
2007年度	54	5【0】	9.3%
2008年度	56	12【1】	21.4%
2009年度	39	7【0】	17.9%
2010年度	55	12【0】	21.8%
合計	324	58【3】	17.9%

＜キャリア・ディベロップメント・アワード＞			
	応募者数	採択者数	採択率
2003年度	22	8【1】	36.4%
2004年度	41	17【3】	41.5%
2005年度	47	18【1】	38.3%
2006年度	51	29【4】	56.9%
2007年度	48	24【3】	50.0%
2008年度	57	21【3】	36.8%
2009年度	49	22【4】	50.0%
2010年度	47	16【1】	34.0%
合計	362	155【20】	42.8%

- (注)・研究グラントの【】内は、研究代表者が日本人であるグラントの採択件数
- ・2002年度より二段階審査法の導入に伴い、研究グラントの採択率は最終採択件数/第一段階採択件数により算出（応募件数は、第一段階のレターオブインテント（簡略版申請書）申請者数）
  - ・長期フェローシップの【】内は、日本人の採択者数
  - ・長期及び学際的フェローシップの採択者数は評議会で承認された採択者数であり、辞退等により実際の助成者数とは異なる。

## (2) 2010年度に採択された日本人研究者の参加する研究グラント

(2010年度に採択された日本人研究者)

### ■プログラムグラント:5名採択(研究代表者1名)

#### ①吉原 良浩

(理化学研究所 脳科学総合研究センター・チームリーダー)

“Mechanistic analysis of neuronal circuit structure and function”

(神経回路の構造と機能のメカニズム解析)

#### ②河西 春郎(研究代表者)

(東京大学大学院医学系研究科 教授)

“Optogenetics of small G-proteins and protein kinases in neuroscience”

(神経科学への低分子量G蛋白質とリン酸化酵素の光遺伝学手法の導入)

#### ③小松崎 民樹

北海道大学電子科学研究所・教授

“Dynamical coordination in a multi-domain, peptide antibiotic mega-synthetase”

(マルチドメインをもつペプチド抗生巨大合成酵素における動的協調現象)

#### ④津田 一郎

(北海道大学数学連携研究センター・センター長;北海道大学電子科学研究所・教授)

“Deliberative decision-making in rats”

(ラットにおける熟慮による行動決定)

#### ⑤東原 和成

(東京大学大学院 農学生命科学研究科 応用生命化学専攻・教授)

“An interaction map of *C. elegans* dauer pheromone components and chemoreceptors”

(線虫の耐性幼虫フェロモンと化学感覚受容体の相互作用に関する研究)

■ 若手研究 Grant: 3名採択(研究代表者1名)

①成田 匡志(研究代表者)

(英国がん研究所、ケンブリッジ研究所、グループリーダー)

②大林 徹也

(鳥取大学生命機能研究支援センター・准教授)

“A new stress-induced program of senescence and its multi-dimensional regulation.”

(生理的シグナルおよびストレス応答における遺伝子発現の多次元調節)

③石川 智子

(大阪大学大学院医学系研究科・助教)

“Characterization of light-dependent rhythmic processes in the marine environment”

(海洋環境下における光依存的リズム機構の解析)